令和元年度第1回 三重支部評議会 資料3

支部保険者機能強化に向けた検討について

令和元年7月18日



1. 支部保険者機能強化予算

支部保険者機能強化予算の概要

2018年度までの支部予算

- 支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。
- ①基礎的業務関係予算
- ・審査医師への謝金等のほか、支部事務室賃料等も含めた基本的な業務に必要な予算
- ②特別計上関係予算
 - ・医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取り組みを推進するための予算
- ③保健事業予算
 - ・受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取り組みを推進するための予算

【問題点】

- ②の特別計上関係予算は、協会発足時に策定された仕組みであり、医療費適正化等の保険者機能の推進に積極的な支部ほど都道府県単位 保険料率が上昇するリスクを伴うため、各種取組に消極的にならざるを得ない部分があった。
- ③の保健事業予算は、措置対象が年々追加され、特別計上関係予算やデータヘルス計画予算との間で関係が極めて曖昧になってきている等の問題があった。

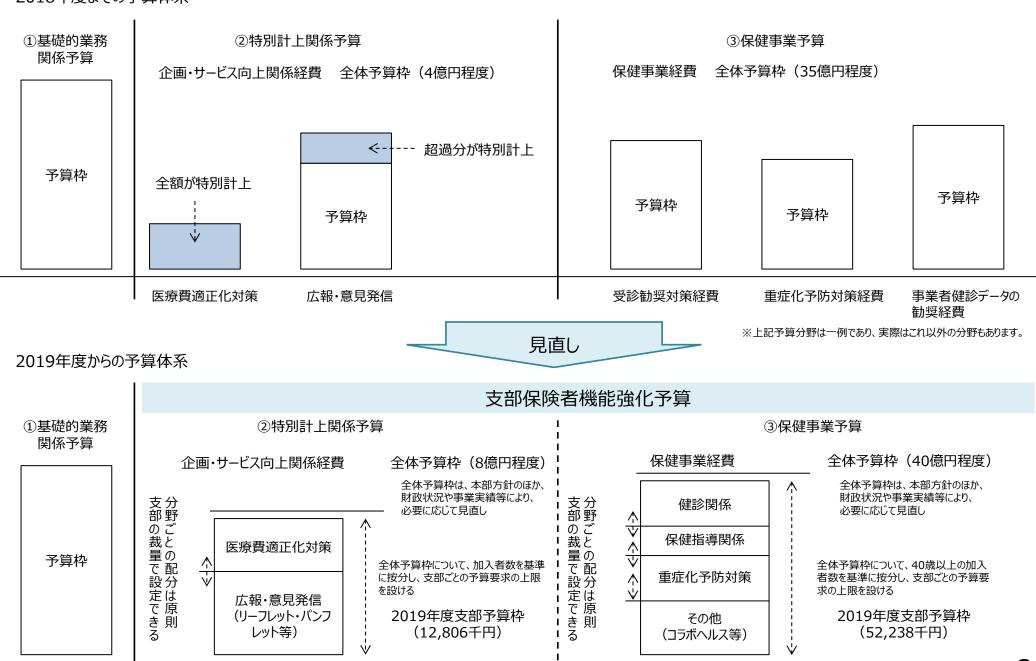
2019年度からの支部予算

【問題点への対応】

- ➤ 医療費適正化等の保険者機能を発揮するべきとの運営委員会や支部評議会でのご意見も踏まえ、2019年度から支部の予算について、新たな 予算体系へと変更することとした。具体的には、「支部保険者機能強化予算」として、予算の枠組みとしては一本化するなど支部が扱いやすいものとした 上で、支部の創意工夫を可能な限り活かしながら、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、支部の予算額について拡充した。
- ① 基礎的業務関係予算
 - ・基本的な業務に必要な予算(2018年度までの支部予算と同じ)
- 2 支部医療費適正化等予算
 - ・医療費適正化対策や広報・意見発信に対する予算
- ③ 支部保健事業予算
 - ・保健事業における重点的な取り組みに対する予算

支部保険者機能強化予算

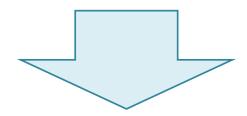
2018年度までの予算体系



支部保険者機能強化予算の検討

支部評議会での議論

- 支部保険者機能強化予算の検討については、翌年度の支部の保険者機能の 発揮に直接関わることであり極めて重要。
- また、コラボヘルスを始めとする支部の保険者機能を発揮するためには、事業主 や加入者の行動変容をどのように促していくかということが重要。

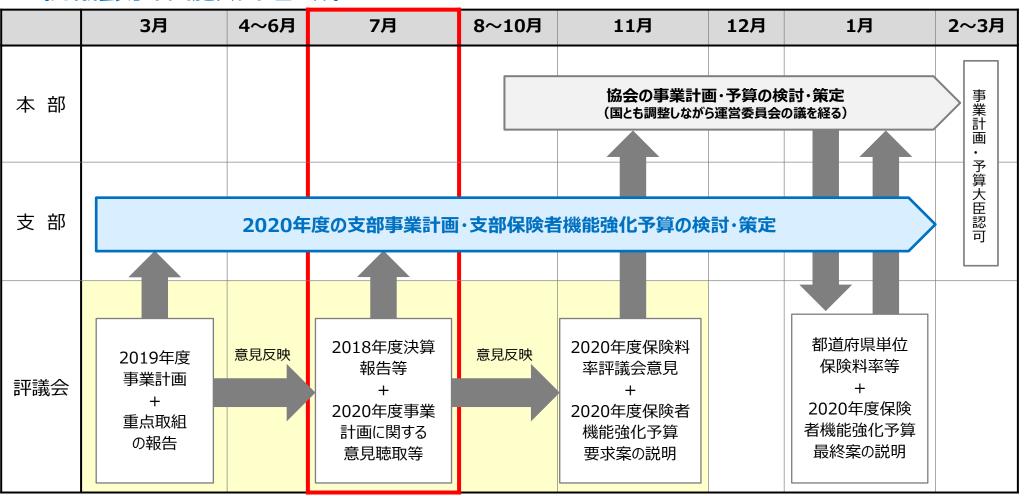


■ このため、支部保険者機能強化予算では、事業主や加入者の意見を反映させた事業とするため、支部において検討した事業について評議員の皆様から意見を伺いたい。

支部保険者機能強化予算の検討

(参考) 評議員の意見を踏まえた事業計画・予算の策定イメージ

〈評議会等の実施スケジュール〉



2. 支部保険者機能強化の検討に向けた論点

支部保険者機能強化の検討に向けた論点

本日ご議論いただきたい論点

○ 健康無関心層も含め、個人に気づきの機会を与え、 行動変容につなげるための取り組みをどのように強化するか。

【支部課題の見える化と対策】

- ① 健診情報に基づくデータ分析
- ② 民間事業者を活用したアンケート分析
- ③ 新たなアプローチによる行動変容の促し

① 健診情報に基づくデータ分析

健診・保健指導カルテ

- 健診・保健指導カルテでは、事業所や加入者の特性等について各指標の偏差値や受診率に 与える影響度等を見える化している。
- 偏差値が低い項目や影響度のマイナス数値が大きな指標が課題となる。

【用語の解説】

都道府県	■被	保险	者																															
	健診						受入	体制	事業	听規模	ŧ										居住	地					事業所	听の耶	奴組み					
	受診		生活習病予防診受診	健	診デ-	ータ 率(%)	健診	可能	診率	(%)		受診	模事業 率 ^(%) _{険者50}		受診	模事業 率(%) kig者10-		小規格 診率(※被保	(%)		支部率(%)		者受診	支部统			健康保委員事 所割台	事業		保険委 受診率	<u>\$</u> (%)	健康宣言事業所害合(%)	事	康宣言 業所受 率(%)
		指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値		指標 数値	偏差値	指標 数値	影響度 (※3)		指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値 指標数値		差値 指標 数値
三重	63	64.1	62	57.1	52	7.1	49	0.73	66	74.3	+3.7	64	74.5	+1.4	63	65.9	+3.1	59	40.4	+1.3	59	59.4	+6.1	57	58.1	+0.6	55	8.3	65	71.1	+4.3	49 0.0)5	41 73.2

【偏差值】

指標の数値が全国でどのくらい位置にあるか表している。平均よりも良い値であれば、偏差値50よりも大きくなる。逆に平均よりも悪い数値であれば、偏差値は50よりも小さくなる。

偏差値が高い項目は青色、低い項目は赤色 になる。

【指標数值】

各項目の結果(値)を示している。

上のケースでは、中規模事業所の健診受診率が74.5%を意味している。

【影響度】

偏差値50からのその支部の偏差値の差分が、 当該支部の健診受診率等に与える影響を示している。

例えば、影響度が+6.1ならば、当該指標が支 部の健診受診率等の割合を6.1ポイント引き上 げていることを意味する。

上のケースでは、偏差値が59から50になると、 健診受診率が58.0%(影響度分の6.1ポイン トがマイナス)となる。

健診・保健指導カルテ(事業所規模別)

【健診】

青色:偏差値50以上の項目 赤色:偏差値50以下の項目 ※色が濃いほど偏差値が高い(低い)

都道府県	■被	技保隊	者																																
	健診						受入	体制	事業所	听規模	Į										居住	地					事業	所の耶	奴組み						
	受診		生活音病予防診受言	方健		ータ	健診		診率回	%)		中規材受診率	椞(%)		中規受診※被保	率(%)		小規 診率 ※被保	(%)		支部 率(%)		者受診	支部:診率			健康係委員等	事業	健康· 業所:			健康等	听割	健康 事率	所受 %)
		指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値		指標 数値	影響度 (※3)	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値		
三重	63	64.1	62	57.1	52	7.1	49	0.73	66	74.3	+3.7	64	74.5	+1.4	63	65.9	+3.1	59	40.4	+1.3	59	59.4	+6.1	57	58.1	+0.6	55	8.3	65	71.1	+4.3	49	0.05	41	73.2

【保健指導】

都道府県	■被保	険者																						
	保健指導						受入体制		事業所規	模											事業所の	取り組み		
	実施率(%		協会実施実施率(%		外部委託 実施率(%		健診当日初回面談割合(%)		大規模事 実施率(% ※被保険者)		中規模事 実施率(% ※被保険者を)		中規模事 実施率(% ※被保険者1)		小規模事 実施率(% ※被保険者1)		健康宣言割合(%)		健康宣言事業所実施率%	
	偏差値 (※1)	指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値
三重	50	12.8	56	11.8	41	1.1	54	56.3	54	13.6	+0.8	57	18.7	+0.6	50	13.6	-0.0	46	8.7	-0.5	49	0.05	53	27.7

- ① 大規模事業所の健診受診率が高く(偏差値66 影響度+3.7)、また、保健指導実施率も高い(偏差値54 影響度+0.8) 大規模事業所は他の規模の事業所より事業所数が少なく、1 社あたりの影響度が大きい。他の事業所の受診状況等を見える化したレポート等を提供することで、 周囲の事業所の影響を受けることが期待できる。
- ② 中小規模事業所(10~49人)の健診受診率が高い(偏差値63 影響度+3.1)が、保健指導実施率は平均並み(偏差値50 影響度▲0.0) 産業医の設置義務がない中小規模事業所(10~49人)での健診受診率が高いことから、健診実施日での保健指導の同時実施や、日を変えての保健指導の実施などにより、保健指導を受けられる機会を提供することで、実施率向上が期待できる。
- ❸ 健康宣言事業所の健診受診率は低い(偏差値41)が、保健指導実施率は高い(偏差値53)

健康宣言事業所の割合が高く、また保健指導実施率が高いことから、健康宣言を行った事業所の健康意識が高いことがわかる。他の事業所の健診受診に関する好事例等を情報共有することで、自事業所での取り組み拡大に期待ができる。

10

健診・保健指導カルテ(外部委託等の実施別)

【健診】

青色:偏差値50以上の項目 赤色:偏差値50以下の項目 ※色が濃いほど偏差値が高い(低い)

No.	都道府県	■被	保険	者				■被	扶養	者				
		健診						特定信		受入	体制			
		受診	举(%)	生活		事業		受診	举(%)	集団	建診受	:診率(%)	集団個	
				病予		診デ- 取得							受診部(%)	割合
				(%)	沙午	4X 147	+ (%)				2		(70)	
		偏差値 (※1)	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値
		(28:1)	数 恒 (※2)		数 胆		数 胆		奴胆		数10			数1但
24	三重	63	64.1	62	57.1	52	7.1	44	19.2	42	1.8	-5.4	39	9.4

● 1人当たりの健診機関受入可能人数が平均並み(偏差値49)

健診受診率は高いが、健診機関の受入可能人数は平均並みである ため、健診機関の受入拡大によりさらに受診率向上が期待できる。 ② 集団健診受診率が低い (偏差値42)

被扶養者の集団健診受診率が全国と比べて低いため、被扶養者の集団健診の実施回数を増やすなどにより受診率向上が期待できる。

【保健指導】

都道府県	■被保	険者							■被扶	養者		
	保健指導						受入体制	J	保健指導		受入体制	J
	実施率%	6)	協会実施実施率(9		外部委託実施率(9	%)	健診当日初回面部割合(%)		実施率%	6)	健診当日初回面部割合(%)	<u>{</u>
	偏差値 (※1)	指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値	偏差値	指標 数値
三重	50	12.8	56	11.8	41	1.1	54	56.3	43	0.6	43	0.0

❸ 外部委託分実施率が低い(偏差値41)

保健指導実施率では、協会実施分は高いが、外部委託分が低いため、 外部委託件数を増加することで実施率向上が期待できる。

4 健診当日初回面談割合が低い(偏差値43)

健診当日初回面談割合が全国と比べて低いため、集団健診など健診機関による当日実施の機会を拡大することで実施率向上が期待できる。

健診・保健指導カルテ(業種別・影響度が高い11業種)

【健診】

青色:偏差値50以上の項目 赤色:偏差値50以下の項目 ※色が濃いほど偏差値が高い(低い)

都道府県	■被	保険者	i																																
	健診			3			11			12			13			17			18			19			28			33			34			42	
	受診率	<u>\$</u> (%)	総合エ	事業		化学工 業	業・同	類似	金属工	業		機械器	具製造	業	道路貨	物運送	送業	その他	の運輸	拿	卸売業			飲食店	5		医療第	€•保健			験・社: 護事業		公務		
				0									2				(3										4							
	偏差値 (※1)	指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度												
三重	63		59	63.8	+0.6	60	75.3	+0.3	62	71.2	+0.4	63	79.1	+1.3	59	59.0	+0.7	62	75.8	+0.3	60	69.4	-0.4	75	54.4	+0.3	61	54.2	+0.8	60	67.5	+0.9	56	64.3	+0.4

【保健指導】

都道府県	■被	保険	Ť																																
	特定仍	呆健		3			11			12			13			17			18			19			28			33			34			42	
	指導写 (%)	美 施率	総合二	上事業		化学二	工業・同	類似	金属コ	業		機械器	5具製道	造業	道路貨	物運送	送業	その他	也の運輸	業	卸売第	Ě		飲食品	5		医療業	- 保健			除・社: 護事業	会福	公務		
				0									2					3										4							
	偏差値 (※1)	指標 数値 (※2)	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	- A	健診・保 建指導力 ルテ(保	影響度	偏差値	指標 数値	影響度(指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度	偏差値	指標 数値	影響度												
三重	52	13.7	46	10.4	-0.2	55	20.3	+0.2	56	19.6	+0.2	54	19.4	+0.4	48	5.2	-0.1	58	16.6	+0.2	53	15.0	+0.1	46	5.5	-0.0	42	2.2	-0.2	49	14.9	-0.0	45	7.8	-0.1

● 総合工事業の健診受診率は高いが、保健指導実施率は低い(「受けっぱなし健診」になっている)

健診受診率が高く、影響度も高いことから、健診実施日での保健指導の同時実施や、対象者の日程に合わせた保健指導の実施などにより、更なる健診受診率と 保健指導実施率の向上が期待できる。

- ❷ 機械器具製造業の健診受診率は高く、保健指導実施率も高い
 - 製造業の事業所数及び被保険者数の割合は、他の業種と比べて多く、健診・保健指導の対象者も多いが実施率が高いこともあり、全体に大きく寄与している。
- ❸ その他の運輸業の健診受診率・保健指導実施率は高い 道路貨物運送業は低いものの、プラスに影響している
 - 運輸支局・トラック協会などの業界団体と連携し、健康起因事故の防止のためのドライバーに特化した健康管理を進めたこともあり、保健指導実施率は高い。
- ◆ 飲食店、医療業・保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業の健診受診率は高いが、保健指導実施率は低い

医療・福祉は、特に対象者が多いことから、健診受診率への影響度が大きい。

健康意識に関する調査(2014年)

- 個人の約半数は、健康のために何もしていない。
- 「何もしていない」理由は、①何をしたら良いか分からない、②忙しくて時間がない、など。

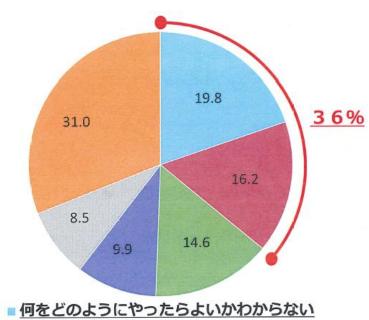
普段から健康に気をつけるよう意識しているか

約半数の個人は、健康のために 何もしていない 全年龄 36.7 32.5 13.5 17.2 $20 \sim 39$ 14.0 30.8 36.2 19.0 歳 $40 \sim 64$ 33.8 35.7 14.5 16.0 歳 6.7 65歳以上 22.2 46.8 24.4 80% 0% 20% 40% 60% 100%

- ■健康のために積極的にやっていることや、特に注意を払っていることがある
- ■健康のために生活習慣には気をつけるようにしている
- □病気にならないように気をつけているが、特に何かをやっているわけではない
- ■特に意識しておらず、具体的には何も行っていない

健康のために特に何もしていない理由

健康のために「何もしていない」人を対象にした質問



- ■忙しくて時間がない
- 経済的なゆとりがない
- ■健康なので特に何もする必要はない
- その他
- ■特に理由はない

被扶養者の特定健診未受診者の特性

○ 平成29年度に未受診であった被扶養者50,097名を、民間業者が実施した心理特性(やり抜く力等)を含む、230項目のインターネット調査658名分、インタビュー調査50名分を分析した結果を踏まえ、心理特性にあわせてセグメント分け。

	ı	心理特性等の分類		人数
	頑張り屋さん	・運動習慣がある ・健康意識が高い ・やり抜く力が強い	日々健康に気を遣っているため、病気に なる心配をしておらず、健診に行く意義を 感じていないタイプ	844人
健診	心配性さん	・病気全般を怖がる・病気になることを心配・やや神経質	日々健康に気を遣っているため、病気に なる心配をしておらず、健診に行く意義を 感じていないタイプ	4,495人
健診経験者	甘えん坊さん	・やり抜く力が弱い・今の生活が幸せ・やや太り気味	不健康である自覚はあるが、今の生活に幸せを感じており、積極的に改善しようとは思っていないタイプ	1,677人
	面倒くさがり屋さん	・生活改善意欲が全くない・健康に興味がない・やり抜く力が弱い	自分のことを健康だと思っており、健康に 関する情報・健康診断に興味がない タイプ	2,191人
	健診未経験者(健康	東に関心がなく、掘り起	しが最も難しい)	40,890人 ほとんどが健診未経験

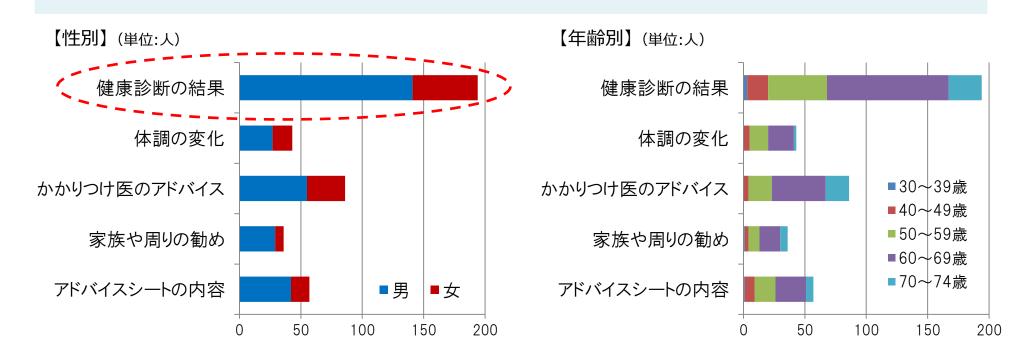
14

② 民間事業者を活用したアンケート分析

糖尿病予防啓発事業でのアンケート結果

○ 糖尿病予防対策として、空腹時血糖値が糖尿病と診断される一歩前の約7,686人に生活習慣 改善のためのアドバイスシートを提供。そのうち、約4%(291人)から回答あり。

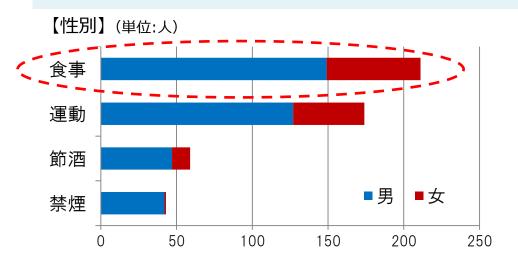
Q1 生活習慣の改善に取り組むきっかけになったことはどのようなことでしたか?

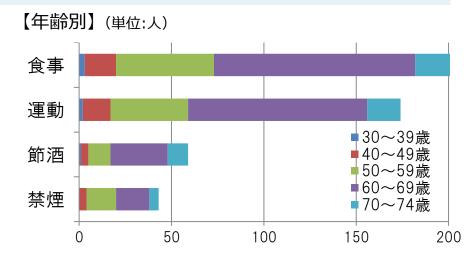


■ 「健康診断の結果」という回答が、突出して多い。

糖尿病予防啓発事業でのアンケート結果

Q2 生活習慣の改善を<u>心がけ</u>ているのはどのような点ですか?

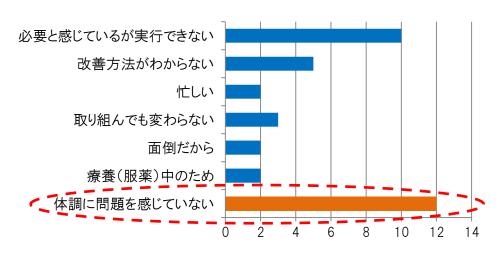




■ 「食事」の改善を心がけているが全体の約73%と最も多い。

【アドバイスシートがきっかけとならなかった方への質問】 生活習慣の改善に取り組まれないのはどのような理由 からでしょうか?

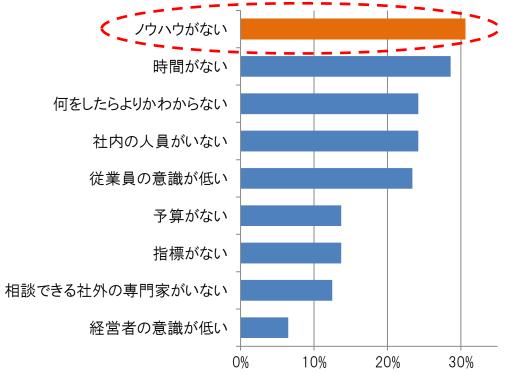
■ 「体調に問題を感じていない」という回答が 最も多い。



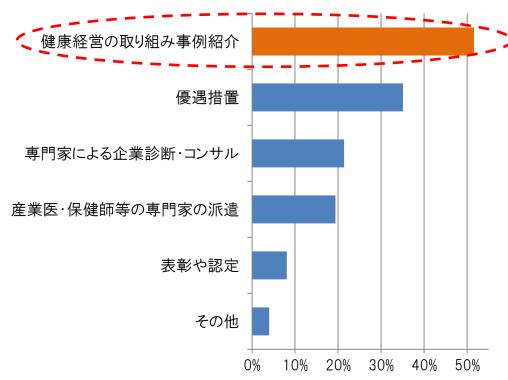
健康経営の取り組み状況等に関する実態調査結果

○ 事業所における健康経営の取り組み状況等の実態調査として、健康宣言に参加している455事業所に対して調査票を送付。そのうち、約56%(248事業所)から回答あり。

Q1 健康経営を実践にするにあたっての課題は どのようなことですか? Q2 健康経営を効果的に実践するためには どのようなサポートが必要ですか?



■ 「ノウハウがない」(30.6%)と回答した事業所 が最も多い。



■ 「健康経営の取り組み事例紹介」(51.6%) が最も多い。

18

健康経営の取り組み状況等に関する実態調査結果

【専門家による考察】 健康経営を進めるうえでの必要な支援

① 健康経営の重要性について認識をさらに高める

■ 健康宣言に参加している事業所のみならず、より多くの事業所に情報提供等を行い、健康経営に取り組む事業所数を増やし、視野を広げることが重要となる。

② 専門的な知識やノウハウを持つ専門家を確保し、事業所を支援する

■ 健康経営に関して専門的な知識やノウハウを持つ専門家を育成・確保し、研修会、個別支援等により 事業所に対して支援をより充実させることが求められている。

③ 事業所間で健康経営の取り組みの情報交換を行う

■ 調査結果では、他の事業所の取組例を参考にしたいという意見が多く聞かれた。健康経営を進めるうえでは、相互に情報交換する機会を持ち、好事例を共有する必要がある。

④ 事業所の特性にあった支援を行う

取り組みが遅れている規模の小さな事業所には、体系的に実施できる体制を整えること、あるいは、まずはどんなことでもよいので、できることから始めることを推奨することがよい。

○ 健康に影響する個人の行動には、いくつかのステップがある。このことは、人の健康行動について 態度や意思決定の観点から健康行動理論により解明している。

受診行動に影響を与える 大要因

疾病や健診の意義に対する 理解を深めるサポート

意識の向上

費用やアクセスなど 受診環境を整える

障害の除去

適切なメッセージによる 個別勧奨

きつかけの提供

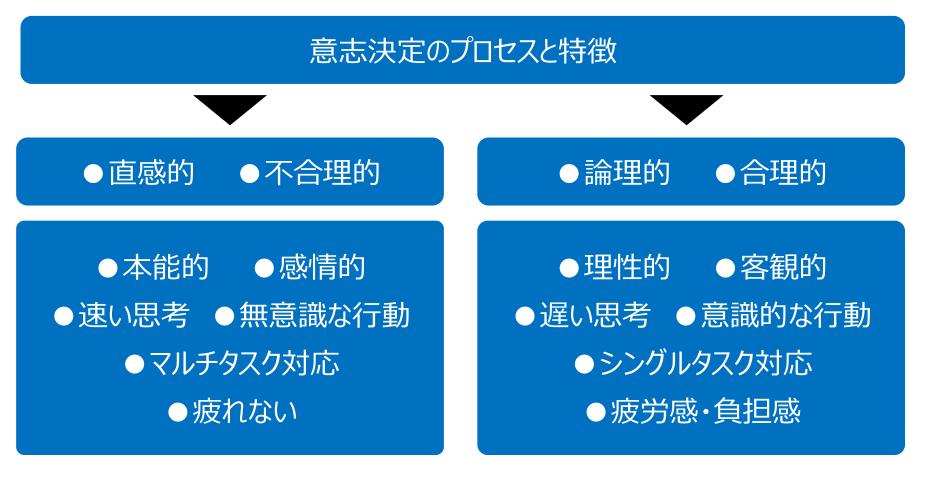


- 厚生労働省は、がん検診の受診率向上を促進するため、ただ説明するのではなく、「行動に至る きっかけの提供」を目的とした、より効果的な取り組みとして、行動経済学の「ナッジ(※)理論」 に基づいた「受診率向上施策ハンドブック」を発行し、ホームページで公開している。
 - ※「ナッジ(nudge)」は、直訳すると「ひじで軽く突く」という意味で、行動経済学や行動科学分野において、人々が強制によってではなく自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語として用いられている。補助金、税制、規則といった政策手法に変わる「第4の政策手法」として活用が進められている。

【ナッジのフレームワーク EAST】

Easy	簡単	望ましい行動をとりやすくするために、行動のハードルを 下げるということ。
Attractive	魅力的	人を引きつけるように訴求力を高めること。
Social	社会的	人々が影響される社会環境を適格に利用すること。
Timely	タイムリー	適切なタイミングで介入を行うこと。

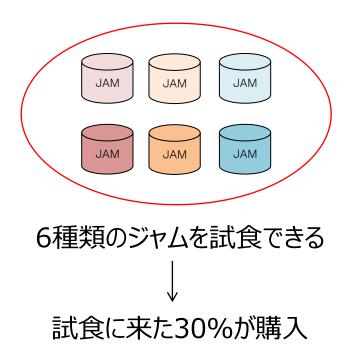
"ナッジ"で、最適な選択をできない人を、より良い方向に導く

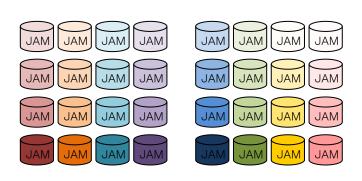


○ 人の思考は直感的な思考と論理的な思考の2パターンに分けられ、**約95%は直感的な思考** により意思決定が行われる。

(活用例) 選択肢の数 ジャムの実験

どちらがよく売れる?





24種類のジャムを試食できる ↓ 試食に来た3%が購入

選択肢が多すぎると意思決定を阻害

選択回避・選択肢削減の法則

選択肢の数は7±2(5~9)が最適

3. 支部保険者機能強化の取り組み

支部保険者機能強化の取り組み

健康行動に影響を与えるアプローチ

重点課題

アプローチ

(1)特定健診 特定保健指導



- 受診機会の拡大
- 健診受診日の保健指導

(2)重症化予防対策



- 医療機関への受診勧奨
- 生活習慣の改善案内

(3) コラボヘルス



- 取組事例の紹介
- 関係者との連携

コール・リコールで個別勧奨の回数を増やす

○ 従来のコール(受診勧奨)の後に、再度受診を案内するリコール(再勧奨)は、すでに多くの 保険者で実施しており、受診率改善が報告されている。

※コール・リコールは米国疾病管理センターによるシステマティック・レビューによりがん検診の受診率向上に最も効果的な手法であることが検証されている。

ソーシャルマーケティングを活用した「気持ち」にあわせたメッセージ

○ 商品等の販売やプロモーションを行う商業マーケテイングの手法を取り入れた受診行動に効果的な メッセージを送る。

ナッジを活用した「受診しなくては」と思わせるメッセージ

○ 受診してもらうための「きっかけの提供」として、受診を促すために必要な情報をわかりやすく伝える。

3月

過去の受診歴等から タイプ別に分類した メッセージによる訴求



4月

被扶養者の自宅あてに 受診券と案内を送付

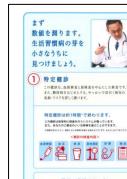


5月

ナッジを活用した行動を 促すメッセージによる 受診勧奨

被扶養者の受診勧奨(3月)

相手の意識や気持 ちに合わせたタイプ 別のメッセージ



<健務の株査内容> 7 19 80

数値が基準以上の方は

改善に向け保健指導を受けましょう。

甘え

坊さ







どのような行動を とればよいか 簡潔に示す



配性さん











申し込みは

カンタン!

返信用ハガキを

送るだけ

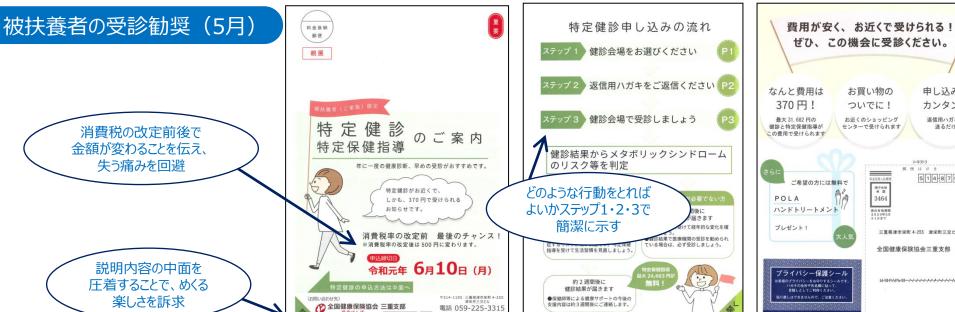
5 1 4 8 7 9 0

三重県津市栄町 4-255 津栄町三交ビル

全国健康保険協会三重支部 行

իլելիիկիկիկիր || թարարակարարկինի իրակիկիկիկիկիկիկի

#中央助 ※ 部 3464



警会けんぽ nww.kyoukaikenpo.or.jp/ 協会けんぽ三重 検索

電話 059-225-3315

「どこで受けるか」に焦点を絞った受診機会の拡大

○ ショッピングセンターでの集団健診により「お買い物のついで」に受診できる機会の拡大。



前期(7~8月)

14会場 合計20回

>>前期の申込み状況

約2倍の 申込み

申込者数

約5,000人

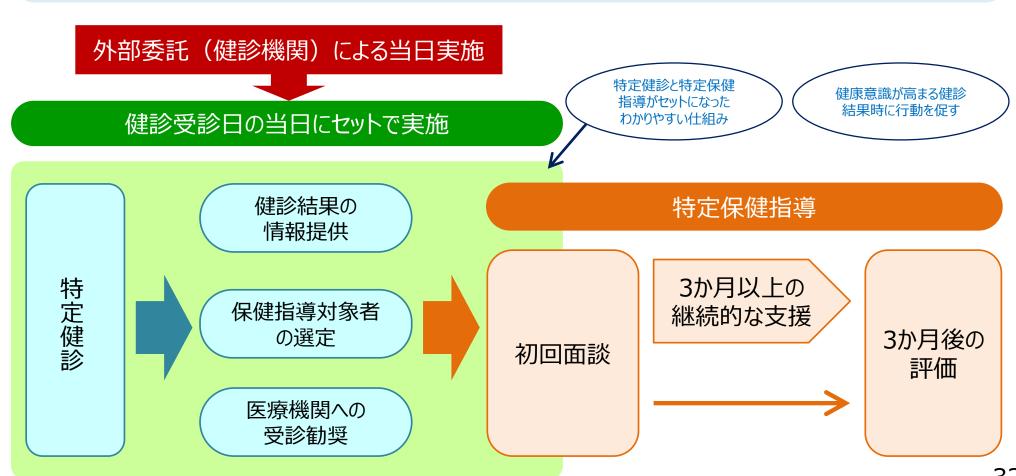
予定者数(見込み) 約2,600人

後期(1~2月)

実施に向けて調整中

受診する立場になって考えた仕組み

○ 健診受診当日に特定保健指導を行うといった効果的で利便性もよく、わかりやすい仕組み。



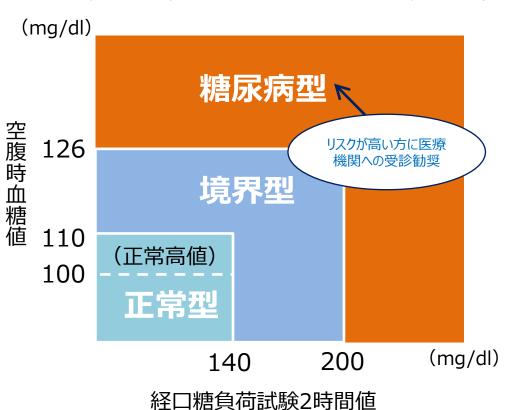
(2) 重症化予防対策の取り組み

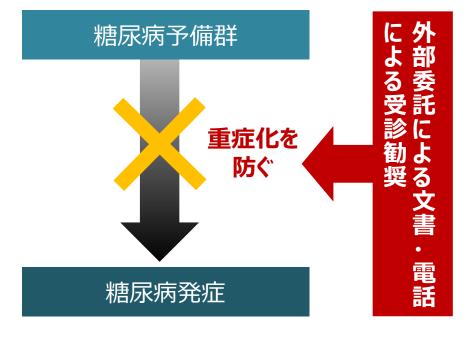
(2) 重症化予防対策の取り組み

より効果的な結果を導くための対象者の選定・勧奨

○ 健診結果で高血圧・高血糖で治療を受けていない方を対象とした医療機関への受診勧奨。

【空腹時血糖および経口糖負荷試験2時間値の判定基準(日本糖尿病学会)】



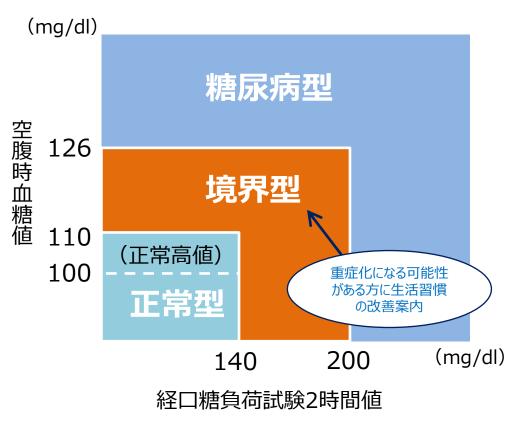


(2) 重症化予防対策の取り組み

より効果的な結果を導くための対象者の選定・勧奨

○ 健診結果で重症域ではないが、このままでは生活習慣病の重症化が進む方を対象とした勧奨。

【空腹時血糖および経口糖負荷試験2時間値の判定基準(日本糖尿病学会)】





(3) コラボヘルスの取り組み

(3) コラボヘルスの取り組み

正しい行動を伝えて、行動を促す

○ 同じような状況の中で他の事業所がどのように行動するかを伝えることで、行動に影響を与える。

【エントリーシート】





【事例集】

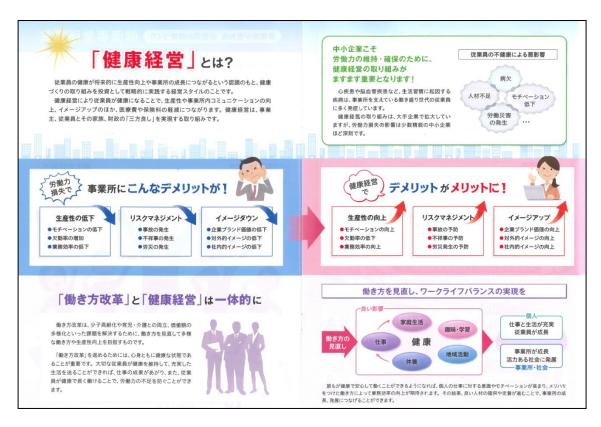


(3) コラボヘルスの取り組み

従業員の健康保持・増進に向けて一体となって取り組む

○ 従業員の健康管理をキーワードに、健康経営と働き方改革を一体とした取り組みを目指す。

【エントリーシート】



関係者との連携

- 三重県
- 三重県商工会議所連合会
- 三重県商工会連合会
- 三重県中小企業団体中央会
- 健康保険組合連合会三重連 合会

4. 健康無関心層を含めた予防・健康づくりの推進

健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進

○ 行動経済学等の理論等の活用し「行動変容を促す仕掛け」によるきっかけの提供や、幅広い 関係者が一体となって取り組む「自然と健康になれる環境づくり」による環境の提供を行うことで、 健康無関心層も含めた予防・健康づくりの取り組みを推進する。

